

Sea 級グルメ全国大会 平成 30 年度 紋別市開催決定について

網走開発建設部 紋別港湾事務所

「みなとオアシスもんべつ」では、みなとを核とした地域活性化の起爆材とすべく平成 30 年度に Sea 級グルメ全国大会の紋別市開催を目指し、平成 26 年度より参加を続けて来ました。今年の魚津大会において、来年 8 月 25、26 日に同大会の紋別市開催が決定しましたので、紋別市開催決定と魚津大会参加の状況、来年度の紋別市開催に向けた展望について述べさせていただきます。

今年の魚津大会は、魚津港の「海の駅蜃気楼」に隣接した会場において 10 月 14～15 日に開催されました。大会前日 13 日には富山県魚津市内のホテルグランミラージュにおいて第 9 回みなとオアシス全国協議会総会が開催されました。この総会は、全国の「みなとオアシス」関係者が集い、「みなとオアシス」を中核とした地域活性化について意見交換を行う場として毎年開催されていますが、この中で平成 30 年度の全国協議会総会の開催地が「みなとオアシスもんべつ」に決定し、全国協議会が平成 30 年 8 月 24 日(金)、第 11 回 Sea 級グルメ全国大会が平成 30 年 8 月 25 日(土)～26 日(日)に開催されることが発表されました。一昨年はみなとオアシスの竹内珠己代表が、昨年は宮川市長が総会で紋別市開催を立候補しており、まさに三度目で本決まりとなった宮川市長は、開催を契機にみなと町もんべつの魅力について知っていただきたいと抱負を語られました。(写真 1)



写真 1 宮川紋別市長

今年の Sea 級グルメ全国大会では、「みなとオアシスもんべつ」は開催地決定を目指し総勢 19 名体制で

参加しました。北海道開発局としても、本局港湾計画課から 3 名、網走開発建設部 7 名と計 10 名が応援し、もんべつの Sea 級グルメ「ホタテみそ焼きうどん」の調理と販売、紋別市の PR に奮闘しました。魚津大会は、低気圧接近による雨と強風という悪天候下で開催され、その中でも 1,200 食を販売し、大会 2 日目には「ホタテみそ焼きうどん」の調理待ちのお客様が長蛇の列をつくる状態が数時間続きました。(写真 2)なお、魚津大会には悪天候にもかかわらず 3 万 8000 人の参加者があったことが発表されており、同大会の集客力と地域経済波及効果の大きさが窺われます。



写真 2 「ホタテみそ焼きうどん」の行列

現在、みなとオアシスもんべつ協議会では、平成 30 年度開催に備えて集客や宿泊、交通手段や近隣市町村との連携などを検討するため、竹内代表を中心に開催実行委員会を組織中です。この大会開催に花を添えるイベントとして、双胴型高速フェリー「ナッチャン world」によるメイン寄港地を紋別市として道内 6 港湾を巡る「北海道 1 周ツアー」も 11 月 8 日に発表されました。また、本年度のみなとオアシス全国協議会総会から「みなとオアシス」の取組みをテーマとしたシンポジウム形式となることから、竹内代表を中心に構想を練っているところです。このように来年度、紋別市の大会が決まりましたので、北海道そして全国のみなとオアシスの方々、そして皆様の多数ご参加を祈念して報告に変えさせていただきます。